

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
1	介護保険事業一般管理事務	53,112	979	1	52,132	介護保険事業の運営に必要な職員給料等の支給のほか、介護保険システムや指定共用車の維持費及び事務処理に必要な消耗品及び通信運搬費等の支出を行った。
2	介護保険事業賦課徴収事務	264			264	年金からの引き取りによる特別徴収及び納付書による普通徴収を実施し、普通徴収の滞納分については、税務課納税係と協力し、督促や催告等を行った。(第5表業務実績の状況7保険料収納率のとおり。)
3	介護認定審査会運営事務	6,273			6,273	認定調査員による認定調査結果をコンピューターで一次判定を行い、保健・医療・福祉に関する学識経験のある委員により構成された介護認定審査会において、一次判定結果、認定調査の特記事項、主治医意見書をもとに審査判定(二次判定)を公平公正に、また客観的に行った。 (1)介護認定審査件数 916件 (2)介護認定審査会の実施 48回 (委員総数12人、委員報酬総額1,182,900円) (3)主治医意見書料 4,538,600円 在宅新規299件、在宅継続402件 施設新規210件、施設継続 61件、計972件
4	介護認定調査業務	6,217		13	6,204	介護認定調査員として、会計年度任用職員2名が認定調査を行うとともに指定居宅介護事業所に認定調査を委託した。 (1)要介護・要支援認定調査委託料 288件 1,050,280円 (第5表業務実績の状況2認定状況のとおり。)
5	介護給付事務	1,257,783	565,433	506,201	186,149	関係機関や事業所と連携を図り、介護給付事業の適切なサービスを提供した。(第5表業務実績の状況8保険給付決定状況のとおり。)
6	予防給付事務	50,449	22,925	20,058	7,466	関係機関や事業所と連携を図り、適切なサービスを提供し、高齢者の心身機能の維持・向上と生きがいのある自立した生活の確保に努めた。(第5表業務実績の状況8保険給付決定状況のとおり。)
7	介護給付費審査支払事務	1,299	584	523	192	審査支払業務を北海道国民健康保険団体連合会を通じて実施した。(第5表業務実績の状況8保険給付決定状況のとおり。)
8	高額介護サービス等給付事務	33,512	15,108	13,444	4,960	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費の給付を行った。(第5表業務実績の状況8保険給付決定状況のとおり。)
9	高額医療合算介護サービス等給付事務	5,090	2,296	2,041	753	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費の給付を行った。(第5表業務実績の状況8保険給付決定状況のとおり。)
10	特定入所者介護サービス等給付事務	49,049	22,412	19,378	7,259	申請により受給資格を認定し、該当者に認定証を交付した。また、介護保険施設では、認定証に記載された限度額までを利用者に請求するが、限度額を超えた分は保険者(市)に請求となることから、この請求に基づき給付を行った。(第5表業務実績の状況8保険給付決定状況のとおり。)
11	介護予防・生活支援サービス事業	52,920	26,429	19,876	6,615	地域包括支援センターが各介護サービス事業所と連携を図り、適切なサービスを提供し、高齢者の心身機能の維持・向上を図り、生きがいのある自立した生活の確保に努めた。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
12	介護予防ケアマネジメント事業	5,035	2,060	2,468	507	地域包括支援係専門職員5名により、対象者に合わせた、適切なケアマネジメントを行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	向上した	無	無	無	無	最小限の経費で一般的な管理を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	適切な賦課事務を行い、公平を保ちながら、徴収事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	認定申請者の要介護、要支援の審査を行い公平公正、客観的な審査により、必要なサービスが利用できるように審査していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	要介護、要支援認定を行うために訪問調査を行い必要な介護、予防サービスを利用できるように調査していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	適切なサービスが提供できるよう、事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	適切なサービスが提供できるよう、事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	審査支払業務を北海道国民健康保険団体連合会を通じて実施していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費の給付事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費の給付事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	適切に受給資格を認定し、給付事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	地域包括支援センターが各介護サービス事業所と連携を図り、適切なサービスの提供を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	対象者に合わせた、適切なケアマネジメントを行っていく。	継続

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
13	高額介護予防サービス費相当事業	34	16	14	4	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費相当の給付を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
14	高額医療合算介護予防サービス費相当費	0				該当者に勧奨通知をしながら、サービス費相当の給付を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
15	一般介護予防事業	7,070	3,342	2,890	838	高齢者の自立した生活の確保を図るため、まる元、えがお塾、高齢者ふれあいサロン等を開催し、心身機能の維持・向上の場を提供した。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
16	審査支払事務	232	118	85	29	審査支払業務を北海道国民健康保険団体連合会を通じて実施した。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
17	総合相談事業	6,708	4,267	1,149	1,292	高齢者の生活を支える総合相談窓口として、各サービス利用に係る調整や、初期の相談対応及び継続的且つ専門的な相談支援を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
18	権利擁護事業	6,381	4,058	1,094	1,229	高齢者の虐待を防止するため、地域ネットワーク等による虐待の早期発見及び対応を行ったほか、成年後見制度の活用を図った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
19	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	3,974	2,528	681	765	支援困難な事例に関し、介護支援専門員が中心となり、地域の関係機関との連携を図り、対応を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
20	介護給付等費用適正化事業	286	182	49	55	1月から12月までの1年分の給付内容を通知したほか、外部委託により、ケアプラン点検を実施した。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
21	介護教室開催	9	6	1	2	在宅介護に必要な介護の知識及び技術の習得や、介護サービスの適切な利用方法についての理解を深めてもらうため、市内の介護サービス事業所と連携し、在宅介護教室を実施した。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
22	介護用品の支給	416	265	71	80	常時寝たきり状態で要介護3から5に認定された在宅生活者で、常時紙オムツが必要と認められる高齢者または特定疾患患者に対し、申請に基づき、紙オムツを1人1日当たり3枚支給した。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
23	成年後見制度利用支援事業	220	129	52	39	市長申し立てによる審判については、成年後見制度利用判定委員会で検討し、審判請求費用の助成を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
24	福祉用具・住宅改修支援事業	0				介護支援または介護予防支援の提供を受けていない要支援者に対し、介護支援専門員、作業療法士等の資格を有する者が理由書の作成を行った場合、1件につき2,000円を支給し支援する。実績 0件
25	認知症サポーター等養成事業	52	33	9	10	キャラバン・メイト養成研修受講の推進を図り、講座開催時の講師を養成し、認知症サポーター養成講座を実施したことにより、認知症の方がいる世帯を地域で支えるための普及及び啓発を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	向上した	無	無	無	無	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費の給付事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	該当者に勧奨通知をしながら、サービス費の給付事務を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	各事業を開催し、心身機能の維持・向上の場を提供していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	審査支払業務を北海道国民健康保険団体連合会を通じて実施していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	初期の相談対応及び継続的且つ専門的な相談支援を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	地域ネットワーク等による虐待の早期発見及び対応のほか、成年後見制度の活用や施設への措置入所等の対応を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	地域の関係機関との連携を図り、対応を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	給付内容を通知するほか、ケアプラン点検も実施していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	在宅介護教室を実施していく。	継続
高い	向上した	有 (高齢者保健福祉計画等推進協議会から事業継続の要望が出されている。)	無	無	無	紙おむつ支給を実施していくこととし、地域支援事業における任意事業で支給していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	市長申し立てによる審判について、慎重に判定委員会で検討のうえ、請求費用の助成を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	今年度、実績はなかったが、継続して支援を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	キャラバン・メイト養成研修受講の推進を図っていく。	継続

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
26	地域資源を活用したネットワーク 形成事業	8,121	2,519	4,921	681	食事の用意が困難な高齢者に対し、申請に基づき、週3回または週6回、居宅を訪問して夕食を提供するとともに、健康状態及び安否確認を行った。1食500円(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
27	認知症高齢者見守り事業	0				芦別市高齢者SOSネットワーク協力機関との情報共有及び連携を強化したほか、市と高齢者を見守る協定を交わした事業所等とも連携し、認知症高齢者の地域で見守る体制を強化した。また、徘徊等する高齢者に対し、徘徊高齢者位置情報提供サービス利用に係るGPS端末等初期導入費の一部(上限8,000円)を助成する。 実績 0件
28	在宅医療・介護連携推進事業	588	433	42	113	医療と介護の両方を必要とする在宅生活の高齢者に対し、近隣市町を含めた医療機関や介護機関と連携を図り、支援を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
29	生活支援体制整備事業	15,491	11,399	1,110	2,982	軽度の要支援の高齢者に対し、生活支援思いやりサポーター(有償ボランティア)が生活支援サービスとして、話し相手やごみ出しの活動を実施した。また、介護人材確保のため、市内事業所に委託し、介護職員初任者研修を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
30	認知症総合支援事業	16,125	11,865	1,156	3,104	認知症地域支援推進員による相談対応のほか、認知症初期集中支援チームによる本人及び家族への支援を行った。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
31	地域ケア会議推進事業	113	72	19	22	支援困難なケースや緊急性のあるケース等について、個別事例の検討を中心に地域ケア会議を実施し、関連機関と連携を図りながら解決に努めた。また、地域ケア会議の5つの機能(個別課題解決機能、地域課題発見機能、ネットワーク構築機能、地域づくり資源開発機能、政策形成機能)の発揮・促進に努めた。(第5表業務実績の状況9地域支援事業の概要のとおり。)
32	芦別市介護保険基金積立金	43,428		43,428		決算余剰金を基金に積み立てた。 積立金 43,428,000円
33	芦別市介護保険基金運用収益積立金	302		302		基金運用により生じた収益を基金に積み立てた。
34	第1号被保険者保険料還付金	74		74		還付件数 11名 15件 還付額73,240円
35	保険給付事業(返還金)	40,153		40,153		(1)令和2年度介護給付費負担金(国庫)の精算に伴う返還金 返還額18,311,648円 (2)令和2年度介護給付費交付金(支払基金)の精算に伴う返還金 返還額13,969,129円 (3)令和2年度介護給付費(道費)の精算に伴う返還金 返還額7,872,241円
36	地域支援事業(返還金)	9,446		9,446		(1)令和2年度地域支援事業交付金(国庫)の精算に伴う返還金 返還額5,085,632円 (2)令和2年度地域支援交付金(支払基金)の精算に伴う返還金 返還額1,663,218円 (3)令和2年度地域支援事業交付金(道費)の精算に伴う返還金 返還額2,696,851円
37	介護保険事業一般管理事務(返還金)	170		170		令和2年度介護保険事業補助金(国庫)の確定に伴う返還金
合計		1,680,396	699,458	690,919	290,019	

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	向上した	無	無	無	無	給食サービスを実施していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	認知症高齢者を地域で見守る体制を継続し、徘徊高齢者位置情報提供サービス利用に係るGPS端末等初期導入費用の助成を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	近隣市町を含めた医療機関や介護機関と連携を図り、支援を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	生活支援思いやりサポーターによる活動や、介護職員初任者研修を実施していく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	認知症のかたやその家族に対する相談対応や支援を行っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	地域ケア会議を実施し、関連機関と連携を図りながら、支援困難なケースや緊急性のあるケース等の対応を行っていくとともに、地域ケア会議の機能と役割の充実を図っていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	決算余剰金が発生した場合は、基金に積み立てていく。	継続
高い	向上した	無	無	無	無	最も有利な保管方法により、介護保険基金を運用し管理していく。	継続
—	—	—	—	—	—	—	評価対象外
—	—	—	—	—	—	—	評価対象外
—	—	—	—	—	—	—	評価対象外
—	—	—	—	—	—	—	評価対象外

1. 必要性（市が行わなければならない理由など）

2. 成果（市民福祉の向上は図られたのかなど）

3. 要望（市民・団体・議会からの要望など）

4. 行財政改革の取組

(1)事務事業の休止・廃止など

(2)コスト削減など

(3)他の事業との統合や民間委託等

※総合判定（休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善）

高い・低い

向上した・低下した

有・無

有・無

有・無

有・無